

ビデオナービズネットとは個人規模で映像関係を業務としている事業者及びそのことに関わっている者の組織です。

公式WEB <http://www.videoner-biznet.com>

📷 5月定例会のご案内

「質疑応答」

いよいよ年号が「令和」になりましたね。世間はなんだか新年の装いです。

「令和」に合わせてではないですが、定例会の開始時間が早くなりましたので、2次会への参加もしやすくなったと思います。先月に引き続きの質疑応答で大いに盛り上がっていきましょう。

次回定例会は

日時 2019年5月28日（火）17時～19時

場所 日暮里サニーホール 第3会議室

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5

ホテルラングウッド5階 03-3807-3211

JR・京成日暮里駅より徒歩5分

開始時間が先月よりさらに1時間早くなって
おります。お間違えのないようご注意ください！

👥 4月定例会のご報告

「会員専用ページ」・「定例会の時間」・「質疑応答」

WEBサイトの「会員専用ページ」、特に「定例会映像」についての見直しが提案され、会員間で話し合いが行われました。

また定例会の開催時間についても見直しが行われ、今回は17時開始になりました。何度か試してみても問題がないようなら、この時間で行く予定です。

質疑応答では、

Q1 「4K60P、4K30P、FHD60iが混在した場合のカメラの記録設定と編集方法は？」（協田）

A 「Ediusの場合、納品がBDやDVDなので、プロジェクトを60iに設定」（高橋）

A 「Premiereでは自動修正してくれる」（赤岡）

Q2 「屋内から屋外などの光が変化する場合の対処方は？」（野上）

A 「モニターだけを頼らず、ファインダーで随時確認する」（近藤、上河）

Q3 「モニターはどれがいい？」（福田）

A 「アイリス調整はモニターは重要」（近藤）

Q4 「Ediusで使用中に不具合」（鈴木）

A 「まずはソフトやパソコンの再起動。以外と治ったりする」（高橋）

近況報告では、

1、「SONYのカメラDSC-RX0を導入し、ドローンで使用。広角でも湾曲少なく業務にもかなり使えそう」（上川）

2、「プロジェクターとスピーカーを導入。営業～プレゼン～発表ツールとして使用できないか模索中」（野上） 以上敬称略 文責：協田



✍️ 会員コラム

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

吉岡さん「よっしーのお手伝い日記」

野上さん「ビデオマンの挑戦（5月号）」

が続きます！（文責各筆者）

前回の「卒園式よもやま話」の中でカメラ禁止にしている幼稚園さんのお話をしましたが、今回も類似のお話を。もちろん高橋の現場例ですが。

幼稚園や保育園によるホールでの発表会では保護者による撮影を、三脚禁止・頭上禁止・フラッシュ禁止にしたうえで、撮影可能エリアを設けて対処している現場がほとんどだが、いい意味での例外を二件ご紹介。

A園さんでは本番前日のホールでの総練習を見学可にし、撮影も可（フラッシュは禁止）にしている。だから総練習といえどもかなりの盛況ぶり。ただし本番ではスマホも含めて録画・録音一切禁止で、その旨のアナウンスが数度流れる、万一撮っている人は巡回職員から口頭注意を受けるという徹底ぶり。15年前からお付き合いさせていただいているが、当初からその姿勢だった。その園は「カメラ越しではなくて、直に観て下さい」という意識がとにかく強い。その分、業者である高橋のカメラワークへの注文も毎回厳しくかなり大変だったが、サンザン鍛えられ、「なるほど」と納得することも増えてきて、気が付くと今やすっかり高橋の身に付いて定番となっているカメラワークも数ある。

B園さんでは発表会での保護者のカメラの多さを何とかして解消したいと常々思っていた。理由はやはり保護者には園児のがんばっている演技を直接観て欲しいから。

15年前、この園に初めて営業に行った際「既存の業者がいますので」と断られ、営業リストから外した経緯があったものの、その7年後にお声がかかり今度はご縁をつなげることができた。無事に受注できた理由は既存業者の廃業から来たものだが、これを機にB園さんでは保護者の撮影を禁止することに決めた。特に担当先生が一大決心して矢面に立たれた様子。保護者からは「ビデオも買うから、撮影させて！」といった筋違いの懇願もあったと言うが勿論それはニコニコ顔（おそらく）ではっきりとお断りしたとの事。園の姿勢として、発表会の目的をきっちりさせたということだろう。

ふつう「撮影禁止」はどちらかと言うと保護者の目を気にしがちな案件だが、日頃筋の通った運営をされているであろうそのB園さん、ここ数年は入園応募者が早々と定員を超える人気園になっている。

あちらこちら長年お付き合いしているとわかってくるのですが、発表会などで園児が親を客席に見つけたときは、顔も目もいっそう輝きを増してきます。とにかく親に直接見ってもらえていることがうれしくて うれしくて たまらない様子。だからそのことを何とかしようと心掛けている園は一味違う。だからビデオ業者なる高橋は園児全員の平等な親然としての、撮影を心掛けようとしているのですが果たして、果たして…。(とにかく精進して一味も二味も違うビデオ業者にならなければ…… ※独り言)

よっしーのお手伝い日記 (8)

アソシネット株式会社 吉岡

オフィス・フォレスト、吹奏楽

Bizネットのホームページを更新していると、労いのメールが長谷川さん(オフィス・フォレスト)から届いた。メールの返事に、会報のネタに、長谷川さんの撮影を見学させてください、できれば、お手伝いをさせてください、とお願いをしてみたところ、数日後、タイミングが良かったのか、ちょうどお願いできる撮影が入ったのだという。私としても願ってもないことで、使ってもらえることになった。

2019年3月27日 神奈川県 藤沢市

せっかくなら、一緒に前泊して、話でもしようと、ビジネスホテルを予約してもらった。

長谷川さんは車で来た。17時 待ち合わせ、21時半まで居酒屋で話をした。大半は仕事の話だった。駆け込み営業の話は、すごく参考になった。

長谷川さんは世話が良い。長谷川さんが一緒に営業に回ったBizネットメンバーもいる。長谷川さん自身の人柄もあると思うが、話を聞いていると、Bizネットの先輩にも同じように世話をしてもらっていたようである。こういう関係性は、なかなか良いなと思った。

にわかにはハイキングを始めた私は、長谷川さんの着るベストのMonte-bellのロゴに目が行った。聞いたら、やはり山歩き用のベストらしい。ポケットがたくさんある、袖なしのもの。そういえば、お知りちゃんも、いつも似たようなベストを着ている。その様(さま)が、如何にもカメラマンらしくて、いつか私も買おうと思っていた。

長谷川さんも最初は、その時に応じて、スーツとかも着ていたらしいが、今は だいたいどの撮影にも このスタイルだそうだ。私の今は、①スーツ ②スポーツ ③私服を止めて→黒の作業着、の3パターン。格好から入るタチなのです。

映画の話になった。自分は、どちらかというと、どう撮影しているとか、構図がどうか、技術的なところを分析し始めて、映画自体はあまり楽しめない。長谷川さんは、自分だったらどうしていただろうとか、物語に入り込めるそうだ。すごく うらやましい。

撮影についてはどうかというと、私は、幼稚園や吹奏楽などの撮影では、感極まってしまって、涙を堪えることもしばしばで、自分は実は撮影する人には向いてなくて、淡々と撮れる方がいいんじゃないかと悩んでみたり、長谷川さんは、自然をテーマにした撮影をしてる時、その自然をファインダー越しにして、身を置き切れてないんじゃないかと悩んでみたり。お互いに、どちらも内包していると思うが、映画鑑賞とは逆の悩みを持っている感じだ。突き詰めると、あなたにとって、ビデオを撮ることとは？ってなりそうだけだ。

そんな取り留めのない話で盛り上がったのだった。

2019年3月28日 神奈川県 藤沢市

長谷川さんは、フォーサーズ規格(マイクロフォーサーズだったか)のカメラを何台か使っていた。デジタルカメラ用のレンズになるので、操作は しづらいが、カメラの動きの少ない撮影なら対応できるのだろう。よっしーの休日の前号の、ミラーレス一眼でライブを撮った要領と一緒に。映像はすごく綺麗になると思った。

メインではないにしても、一眼動画を使ってる人も増えてきたし、あまり苦手意識を持たない方が、今後は良いのかもしれない。

ステージ上にリモコンカメラを設置し、手元まで線を引いてきて、タブレットで操作をしている。ズームとカメラ位置を4か所セットできて、瞬時に切り替えられる。これはなかなか便が良さそうだ。

あと長谷川さんは、VR用だと思うが、四方にマイクが向いているレコーダーを試していた。長谷川さんも、新しい技術には敏感だ。将来、360度カメラを立てて、Googleみたいなモニタを装着している様子が目に浮かぶ。

朝から長谷川さんは、忙(せわ)しなく電話をしていた。何かと思ったら、明日 予定していた撮影が、実は今日だったみたいなのだ。衝撃のダブルブッキングである。先方の担当者と、ビデオマンの手配との連絡に、大変なことになっていた。

音響の関係などは、あらかじめホールとのやり取りをしていたようで、どこで行き違いになったのか。

撮影の時間帯は、こちらとは重ならないらしいが、終了してから行っても、間に合うかどうかというギリギリのところ。連絡を取って、長谷川さんの息子さんと、Bizネット会員の鈴木さん(TOMCOM)が駆け付けてもらえることになった。Bizネットの連携が活きた形だが、それ以上に鈴木さんが義理堅いんだと思う。

撮影終了後、片付けを急ぐと、自分でも驚くほどの最速スピードで後片付けをすることができた。いつもビデオマンは最後まで残って片付けをしている印象がある。印象というか、事実なのだが、この時は、仕舞うのが単純明快で 分かりやすかったんだと思う。課題として、自分自身の装備を見直すことにしよう。

最寄りの駅まで送ってもらう道すがら、向こうの状況が入ってくる。長谷川さんの無事を祈る。

後日談

今回はお願いして、私の自前のマイクテストをしていた。この時 録音した私の音源を長谷川さんに渡すと、長谷川さんの方から、三点吊りマイクの音声と、VR用マイクの録音の音声を送られてきて、聴き比べることができた。こういうのは、本当にありがたいなあと感じる。

気になる、例の件だけど、撮影も無事に終了し、先方にもご理解が得られたようで、ほっと ひと安心だ。

※ 内容は長谷川さんの了解を得て、掲載をしています。

ビデオマンの挑戦 (5月号)

八王子映像ビデオマン : Isomitsu Nogami 2019.4.28

風薫る五月新緑の季節となりました。ビズネットの皆様いかがお過ごしですか。4月の例会でプロジェクターを使用しての学校売込 PR はよろしくないというアドバイスを頂き再思考し切り口を変えてチャレンジすることと致します。そもそもどなたも悠長な時間を持ち合わせていないという現場の声でありました。筆者もそうだろうなあと現場は戦々恐々な状況を教えられました。

さて今回は気を取り直してローランドのビデオスイッチャーの使い始めについてをビデオマンの挑戦に投稿したいと思います。



Roland V-02HD MULTI-FORMAT VIDEO MIXER

2018のInterBeeで発売されたローランドの廉価版です。最初のステップでマニュアルを読んでもなかなか難しい。仕方なく使いの電話でしたが要領よく教えてくれました。まずメニューボタンを押す。次に右のダイヤルを回す、そして決定でプッシュする。私の今までの観念ではスイッチは大概「回すか押す」の2種類のタイプでした。しかしこのノブは回してから押すのである。しかも一つのボタンで二つの要素が含まれているのです。なんだかこのスイッチで嬉しくなりました。アメリカと日本が合体したような機能だったからです(笑)

このスイッチャーでディスプレイにP in Pで出力したのもしてお時間がありましたらご覧ください。二つの映像をマルチ編集するのはいままでもやってきました。タイムラインに二つの映像を重ねて映像を見ながら切り替えて一本化する方法です。しかしこのスイッチャーを利用すると現場で単純な操作で2つの映像を組み合わせることができます。これからレコーダーを購入しなければなりません。ATOMOSのNinja2がモニター・レコーダー一体になっているものです。SDカードにデータを吸い上げることができます。カメラ操作にスイッチャーを操作することをワンマンでこなす。これも楽しいビデオマンの必須機材として活用してゆく所存です。

